

令和元年8月9日

各 位

トモニホールディングスグループの令和2年3月期第1四半期決算概要について

トモニホールディングス（本社：香川県高松市、社長：中村 武）は、令和2年3月期第1四半期（平成31年4月1日～令和元年6月30日）連結業績等の概要と、当社グループの中核企業である徳島銀行（本店：徳島県徳島市、頭取：吉岡宏美）、香川銀行（本店：香川県高松市、頭取：本田典孝）及び大正銀行（本店：大阪市中央区、頭取：吉田雅昭）の単体業績等の概要について発表いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. トモニホールディングス
(1) 令和2年3月期第1四半期（平成31年4月1日～令和元年6月30日）連結業績

当第1四半期における損益状況は、経常収益は、貸出金利息は増加したものの、有価証券利息配当金、国債等債券売却益及び株式等売却益が減少したこと等により、前年同期比1,281百万円減少して17,102百万円となりました。経常費用は、株式等償却は増加したものの、与信関連費用及び株式等売却損が減少したこと等により、前年同期比580百万円減少して13,414百万円となりました。その結果、経常利益は、前年同期比700百万円減少して3,688百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比716百万円減少して2,841百万円となりました。

当第1四半期末における主要勘定残高の状況は、総資産残高は、前年度末比364億円増加して3兆9,356億円、純資産は、前年度末比35億円増加して2,303億円となりました。また、譲渡性預金を含む預金等残高は、前年度末比507億円増加して3兆6,023億円、貸出金残高は、前年度末比47億円増加して2兆8,048億円、有価証券残高は、前年度末比269億円減少して6,651億円となりました。

		令和2年3月期 第1四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	17,102百万円	△1,281百万円
	経常費用	13,414百万円	△580百万円
	経常利益	3,688百万円	△700百万円
	親会社株主に帰属する四半期純利益	2,841百万円	△716百万円
		令和2年3月期 第1四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	39,356億円	364億円
	純資産	2,303億円	35億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	36,023億円	507億円
	貸出金	28,048億円	47億円
	有価証券	6,651億円	△269億円
	自己資本比率（国内基準）	8.78%	0.06%

(2) 令和2年3月期（平成31年4月1日～令和2年3月31日）連結業績予想

令和元年5月15日に公表しております令和2年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想（経常利益及び親会社株主に帰属する当期（中間）純利益）につきましては、修正ございません。

2. 徳島銀行

(1) 令和2年3月期第1四半期（平成31年4月1日～令和元年6月30日）単体業績

当第1四半期の損益状況は、経常収益は、貸出金利息は増加したものの、有価証券利息配当金が減少したこと等により、前年同期比232百万円減少して6,751百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益が減少したこと等により、前年同期比34百万円減少して5,297百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前年同期比42百万円減少して1,899百万円となりました。

経常利益は、与信関連費用は減少したものの、債券関係損益及び株式等関係損益が減少したこと等により、前年同期比12百万円減少して1,543百万円となり、四半期純利益は、前年同期比163百万円減少して1,125百万円となりました。

当第1四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前年度末比306億円増加して1兆5,738億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比296億円増加して1兆6,796億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取組みました結果、前年度末比94億円増加して1兆1,435億円となりました。なお、自己資本比率（国内基準）は8.59%となりました。

金融再生法開示債権額は、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取組みによる債務者区分のランクアップや不良債権の積極的な回収を図りました結果、前年度末比536百万円減少して19,079百万円、総与信に占める割合は1.63%となりました。

		令和2年3月期 第1四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	6,751百万円	△232百万円
	コア業務粗利益	5,297百万円	△34百万円
	コア業務純益	1,899百万円	△42百万円
	経常利益	1,543百万円	△12百万円
	四半期純利益	1,125百万円	△163百万円
	与信関連費用	366百万円	△329百万円
		令和2年3月期 第1四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	16,926億円	142億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	15,738億円	306億円
	総預り資産	16,796億円	296億円
	貸出金	11,435億円	94億円
	有価証券	3,378億円	△239億円
	自己資本比率（国内基準）	8.59%	0.06%
不良債権	金融再生法開示債権額	19,079百万円	△536百万円
	総与信に占める割合	1.63%	△0.07%

3. 香川銀行

(1) 令和2年3月期第1四半期（平成31年4月1日～令和元年6月30日）単体業績

当第1四半期の損益状況は、経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金が増加したものの、株式等売却益が減少したこと等により、前年同期比567百万円減少して6,530百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益が増加したものの、外国為替売買損が増加したこと等により、前年同期比54百万円減少して5,550百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、経費が減少したこと等により、前年同期比14百万円増加して1,875百万円となりました。

経常利益は、株式等関係損益が減少したこと等により、前年同期比571百万円減少して1,587百万円となり、四半期純利益は、前年同期比508百万円減少して1,308百万円となりました。

当第1四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前年度末比268億円増加して1兆5,736億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比269億円増加して1兆7,140億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取り組みましたが、前年度末比43億円減少して1兆2,556億円となりました。なお、自己資本比率（国内基準）は9.60%となりました。

金融再生法開示債権額は、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取り組みによる債務者区分のランクアップや不良債権の積極的な回収を図りましたが、前年度末比422百万円増加して24,188百万円、総与信に占める割合は1.90%となりました。

		令和2年3月期 第1四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	6,530百万円	△567百万円
	コア業務粗利益	5,550百万円	△54百万円
	コア業務純益	1,875百万円	14百万円
	経常利益	1,587百万円	△571百万円
	四半期純利益	1,308百万円	△508百万円
	与信関連費用	225百万円	121百万円
		令和2年3月期 第1四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	17,368億円	291億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	15,736億円	268億円
	総預り資産	17,140億円	269億円
	貸出金	12,556億円	△43億円
	有価証券	2,851億円	22億円
	自己資本比率（国内基準）	9.60%	0.05%
不良債権	金融再生法開示債権額	24,188百万円	422百万円
	総与信に占める割合	1.90%	0.04%

4. 大正銀行

(1) 令和2年3月期第1四半期（平成31年4月1日～令和元年6月30日）単体業績

当第1四半期の損益状況は、経常収益は、有価証券利息配当金が減少したこと等により、前年同期比219百万円減少して2,264百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益が減少したこと等により、前年同期比125百万円減少して1,792百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前年同期比59百万円減少して256百万円となりました。

経常利益は、株式等関係損益が減少したこと等により、前年同期比96百万円減少して435百万円となり、四半期純利益は、前年同期比39百万円減少して332百万円となりました。

当第1四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、法人預金等が減少し、前年度末比78億円減少して4,788億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比79億円減少して4,950億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取り組みましたが、前年度末比3億円減少して4,139億円となりました。なお、自己資本比率（国内基準）は5.95%となりました。

金融再生法開示債権額は、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取り組みによる債務者区分のランクアップや不良債権の積極的な回収を図りました結果、前年度末比282百万円減少して5,936百万円、総与信に占める割合は1.43%となりました。

		令和2年3月期 第1四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	2,264百万円	△219百万円
	コア業務粗利益	1,792百万円	△125百万円
	コア業務純益	256百万円	△59百万円
	経常利益	435百万円	△96百万円
	四半期純利益	332百万円	△39百万円
	与信関連費用	△147百万円	3百万円
		令和2年3月期 第1四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	5,242億円	△73億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	4,788億円	△78億円
	総預り資産	4,950億円	△79億円
	貸出金	4,139億円	△3億円
	有価証券	398億円	△54億円
	自己資本比率（国内基準）	5.95%	0.10%
不良債権	金融再生法開示債権額	5,936百万円	△282百万円
	総与信に占める割合	1.43%	△0.06%

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

トモニホールディングス株式会社 経営企画部
 株式会社徳島銀行 企画部
 株式会社香川銀行 総合企画部
 株式会社大正銀行 企画部

TEL：087-812-0102
 TEL：088-656-1118
 TEL：087-812-5132
 TEL：06-6205-8400